



仙台市教委ってどんなところ？

「体験を通して成長」大切に



教育委員会って何をするとところ？ 仙台市上野山小5年の
こども記者、有吉優乃さん(10)、斎藤快生さん(10)、桜井
陽菜さん(11)は、仙台市の教育の特長を知るため、同市教委
学びの連携推進室室長の丸山淳さん(57)取材しました。

(1面に関連記事)

教育委員会は学校内外で学ぶ子どもたちと先生を支える機関です。「学校を作ったり、先生の配置を考えたりします。教科書を選ぶのも大事な仕事です」。丸山さんが教えてくれました。

仙台市の教育の特長を尋ねると「たくましく、しなやかに自立する子どもを育てることが目標です。多くの体験を通して成長する『自分づくり教育』を大切にしています」と答えました。

計780人いる職員のうち教諭は207人。丸山さんも中学校で理科を教えていたそうです。

「先生は大変で、なりたい人が減っています。対策はしていますか」というこども記者の問いに「小学校ではクラス担任が全ての授業をするのではなく、教科担任制を進めたり、情報通信技術(ICT)を使って出欠確認をしたりして、負担を軽くしています」と述べました。

「未来を作るのはみんなです。いろんなことに挑戦して、たくましく生きる力を身に付けてください」。丸山さんは3人にエールを送りました。

丸山さん(中央)の説明を聞きながら市教委の部屋を見学するこども記者

取材を終えて

正しく知ることが一歩 有吉優乃さん



アレルギーがある人とも一緒に外食や買い物ができる社会になってほしいです。正しく知ることが第一歩だと思います。いじめをなくすため地域の人も支え合っていると知りました。良いところを認め合えば、いじめはなくなると思います。

寄り添った食事に驚き 斎藤快生さん



僕は食物アレルギーがあります。そういう人に寄り添って作られたメニューが、アレルギーがない人も繰り返し食べたくなるほどおいしいというのがすごいです。教育委員会には、学校のことを大事に思っている人たちがいると分かりました。

目標は「仲良く笑顔で」 桜井陽菜さん



ヘルシーハットさんはアレルギーに対応する食品をたくさん置いていて驚きました。開店して40年というのもびっくりしました。自分が仙台市教育委員会にいたら、仲良く元気で笑顔の子どもたちを育てることを目標にしたいです。